

☆「浜松市憲法を守る会」行進七百回達成！

「浜松市憲法を守る会」の平和行進が戦後80年の今年、遂に今日七百回目を迎えました。60年間、延べ700キロメートルの距離を歩き続けました。

・それは61年前、一人の反戦デモから始まった

◆第1回の東京オリンピックが開かれた年の1964年11月5日、浜松市に於いて自衛隊発足14周年を記念する市をあげての盛大な記念行事が行われました。

◆空にはジェット戦闘機45機が舞い、陸上は自衛隊の戦闘車両等100台が公道を使った大パレードでした。集まった市民は3千人を超えました。

◆その時、その行進の最後尾を「戦争準備絶対反対」と書いたプラカードを掲げてたった一人でデモを行った人がいました。遠州教会の松本美実牧師です。彼は不屈き者として何度摘まみ出されてもそのデモを最後まで続けました。

◆その出来事は、翌日の中日新聞に写真入りで報道されています。不思議なことにそれは誰の記憶にも残らず44年後、当会によって記事が発見されました。

・その時、その後の展開

◆その時、これもたった一人松本氏に応援の声を送って沿道を歩いた人がいました。浜松盲学校教諭溝口正氏です。その後、二人は生涯平和の戦士として行動を共にし、浜松市憲法を守る会の発足と発展に尽力しました。

◆その後、平和憲法を守る行進は断続的に続けられました。1968年建国記念の日制定反対のデモを機に、毎月一回平和行進を続けることが決まり、今日まで一回も休む事なく継続され、今日700回の記念の時を迎えたのです。

・戦争準備へ傾斜する国の姿と憲法の真価

◆戦後80年間、日本は一度も戦争することなく今日まで来ました。それは「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、永久に放棄する。陸海空その他の戦力はこれを保持しない。」と謳った憲法9条があったからです。

◆しかし一方、この憲法を骨抜きにし、戦争準備に余念がなかったのもこの国の現実の姿です。それに抗ってきたのがこの平和行進でした。

◆少子高齢化の波の中でこの憲法の真価を守り平和を守り続けるにはどのような形でこの運動を継続するか、これからも私たちは模索し訴えて行きます。

二〇二五年六月八日（日）護憲平和行進（通算700回目）
★浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中央区紺屋町三〇一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合



*今日6月8日、浜松市憲法を守る会の平和行進は700回目を迎えました。午後3時より駅前バスセンター下の円形広場で記念のイベントを行います。参加して平和の思いを共有しませんか。歓迎します！

1964(昭和39)11.6
中日新聞

空陸の大パレード

浜松 自衛隊十四周年を記念

自衛隊創立十四周年を記念した
際、空のパレードが五日午後零時
三十分から浜松市であり、陸上自
衛隊訓練場前町駐屯地第一特科連
隊戦車隊などが約百台の戦車、
火砲、トラックや航空自衛隊浜松
北基地のF4Dジェット戦闘機な
ど四十五機の飛行機が参加した。

同市役所前に開兵台が設けられ
藤原陸上自衛隊第一師団長、飯塚
航空自衛隊南科教育長、平山四松
市長、戸田浜松商會所会頭ら開兵
書に花束が贈られたあと自衛隊富
士塚校、第一師団の音楽隊を先頭
にパレードが開始され、体育館前
から市役所前を通り通片が東点か

ら田町まで約一キロを戦車、M15直
撃高射砲、火砲などが行進、浜松
市消防車五十台がこれに続いた。
空にはジェット機やヘリコプター
の編隊飛行があった。

このあと陸上自衛隊レイシジャ
ー部隊が同市役所三階にロープを
張り救助訓練をみせた。市役所前
は市職員や近くの学生たち約三千
人が集まった。

沿道は自衛隊の威力を見よ
うと集まった人や旗をラッパの
とさ以来の黒山の人がかりだった
が、戦車の行進の横を「戦争準備
絶対反対」と書いたプラカードを
手にして歩を行進するひとりの教
師さんが現われ、見物人もこのど
り合わせを複雑な表情で見守って
いた。



行進する戦車部隊

